

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-06-02
事務事業名	栄養委員会事業		
事業開始年度	昭和46年4月		
総合計画	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先
	中項目	健康でやさしく生き生きしたまちづくり	担当課(室)
	小項目	健康づくり	保健課
			職・氏名
			健康係長・白麗由美子
			電話
			64-1820

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	栄養委員
目的(何のために)	栄養委員会の組織育成とレベルアップを図ることにより栄養改善に努め、市民の健康づくりをすすめる
行政活動(どのような方法で)	栄養委員会及び研修会を実施する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民の健康の増進

事業の実績						
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	栄養委員会及び研修会		回	95	97	141
	栄養委員会及び研修会参加者数		人	1,614	1,824	2,043
	直接事業費		千円	2,317	2,236	2,114
	人件費		千円	7,347	9,285	11,043
	事業費計			9,664	11,521	13,157
	国県支出金			22	22	0
	受益者負担					
	市一般財源			9,642	11,499	13,157
	必要人員		人	1.12	1.30	1.57
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績
	委員会・研修会回数		説明			
	結果指標量	人		95	97	114
	対前年比	%		-	102.1%	117.5%
	活動コスト	円		9,664,000	11,521,000	13,157,000
結果指標	委員会・研修会参加人数	説明				
結果指標量	人		1,614	1,824	2,043	
対前年比	%		-	113.0%	112.0%	
活動コスト	円		9,664,000	11,521,000	13,157,000	
結果指標	単位当たりコスト	円		5,988	6,316	6,440

事業の成果			
成果指標名	総会、栄養委員研修会参加率	式又は説明	総会、栄養委員研修会参加人数 / 栄養委員会委員数
	17年度	18年度	19年度
成果指標量	75.00	80.00	85.00
対前年比		106.67%	106.25%
到達目標値	85.00	到達目標年度	平成20年度



事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。



事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。



事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

(平成19年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	A
目的	<input type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である		
対象	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	備前市条例で目的が定められており妥当である。保健行政の推奨と地域住民の健康増進を図るため、栄養委員の活動を支援することは、行政として重要な役割である。また、健康増進、栄養改善を進める上で適切な情報を提供する必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している		
行政活動	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	効率的性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
事業の意図する成果	<input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である	地域の健康リーダーとして活動するには、知識の向上、地区組織の強化につとめ自主性を育てる必要がある。しかし地域づくりの健康ボランティアとしての活動を期待するならば、他団体との連携による事業実施も重要である。地域での委員会、研修等をとし委員活動の意義や重要性についての意識付けを行い地域住民との交流に資を見出す支援をする。活動を積み重ね民間ボランティア団体への移行についても検討すべきである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい		
市の関与	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	有効性評価<A~E>	B
	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを低減することは困難		
効率性の評価	<input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	事業の計画には、栄養委員の自主性を尊重しながらも、その目的を明確にし効率のよい実施方法を求めている。各地域内での栄養改善事業、子育て支援事業などの実施に伴い地区住民の理解も深まり、参加数は増加している。	
	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
手	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている	有効性評価<A~E>	B
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	事業の計画には、栄養委員の自主性を尊重しながらも、その目的を明確にし効率のよい実施方法を求めている。各地域内での栄養改善事業、子育て支援事業などの実施に伴い地区住民の理解も深まり、参加数は増加している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		
市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		

平成20年度の状況		説明	事業計画は前年度の時間的な流れに従い進めているが、研修会等はより社会的ニーズにあった内容に強化している
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している		
<input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	結果指標量	1,950
<input type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で真正・完了		結果指標量
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		結果指標量	85.00%

総合評価		評価区分<A~E>	B
市町村合併から3年経過した。栄養委員は旧市町村の枠を超え委員会活動をとし一体化のために努力した。また他団体(愛育委員会等)との連携事業を実施した。親子料理教室・伝達講習会等の事業をおとした意識付けの他に保育園・学校から食育推進の担い手として認識された。			

平成21年度以降の方向性		<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する	<input type="checkbox"/> 平成20年度で真正・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	市が関与すべき栄養改善事業であるが民間ボランティアへの委託事業として検討	平成24年	市民の健康推進意識の向上と食生活改善
有効性	市民のプラン作成参加	平成26年	市民の健康推進意識の向上と食生活改善